

医療と介護が必要な高齢者の 在宅生活への支援に向けて



**中央区ではひとり暮らしの高齢者が
増えています**

中央区の高齢化率は、最近の数値では少し低下していますが、将来推計では上昇していきます。
特に、医療や介護の必要性が高まる75歳以上の後期高齢者が増加していく見込みです。
また、65歳以上の高齢者を含む世帯のうち、ひとり暮らしの世帯の割合が市内でも高くなっています。

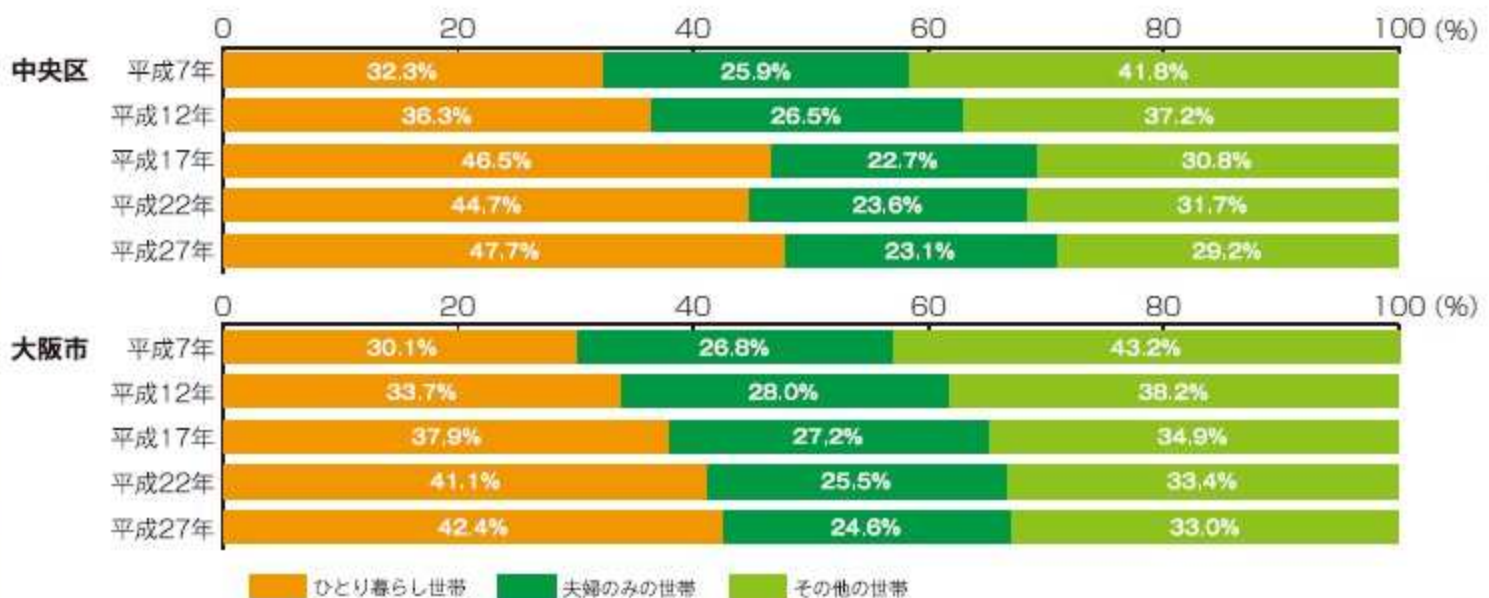
中央区の高齢者人口の推移と将来推計

・実績値(～2015年) 総務省「国勢調査」(年齢(5歳階級)別人口)
・推計値(2020年～2040年) 政策企画室調べ将来推計人口(平成26年8月時点)



65歳以上の方がいる世帯の状況

総務省「国勢調査」(世帯の家族類型(4区分)別65歳以上親族のいる一般世帯数)



介護を必要とする高齢者、 認知症高齢者も年々増えています

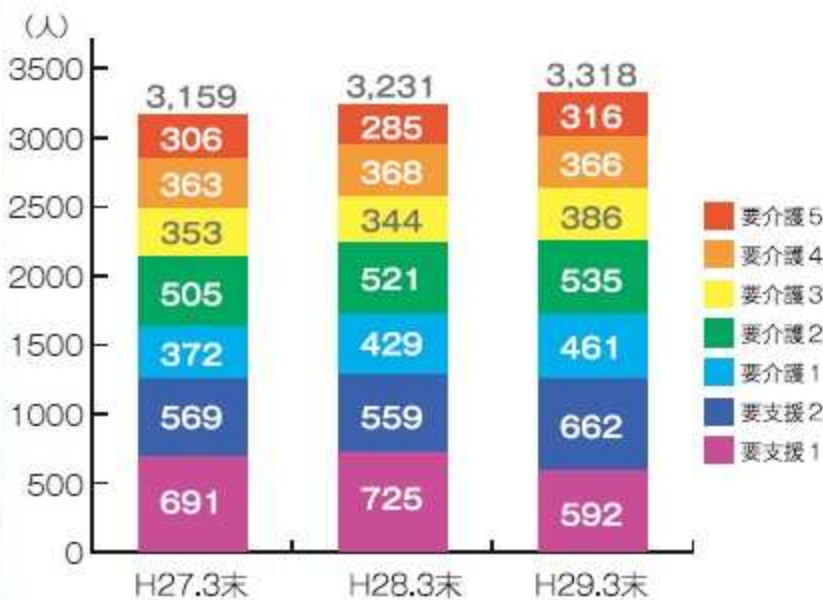


中央区の要介護（要支援）認定者数は年々増加し、引き続き増加していくものと見込まれます。

また、介護認定を受けている高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方（認知症高齢者等）も年々増加しています。後期高齢者の増加に伴い、国の推計では、2025年には高齢者の5人に1人が認知症患者と見込まれています。

中央区の要介護（要支援）認定者数の推移

・大阪市福祉局資料



中央区の認知症高齢者等の推計 （居宅の日常生活自立度Ⅱ以上）

・大阪市福祉局資料



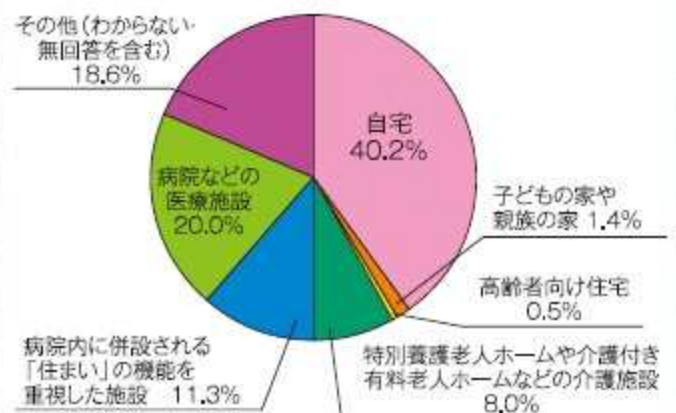
高齢者は終末期には 自宅で過ごしたいと 思っています

65歳以上の高齢者から無作為に抽出した方に対して、平成28年に行ったアンケート調査では、終末期に過ごしたい場所について「自宅」が最も多い結果となっています。

高齢化の進展により、ひとり暮らしの高齢者、医療と介護サービス双方を必要とする高齢者、認知症高齢者などの増加が見込まれ、併せて、終末期には自宅で過ごしたいニーズが高いなか、在宅での生活を支えていくには、医療と介護の連携推進を図っていく必要があります。

中央区在住の高齢者が 終末期に過ごしたい場所

・大阪市福祉局「大阪市高齢者実態調査報告書」
（平成29年3月）



中央区では在宅医療・介護連携の取組を進めています



・中央区在宅あんしんマップシステム (<http://osakachuo.zaitaku-anshin.jp/>)

在宅医療・介護を支える
医科・歯科・薬局・看護・介
護の関係施設を対応可
能な処置など様々な条
件に応じて検索し、地図
上に表示できるシステム
です。

ご利用はこちらから



・中央区在宅医療・介護連携推進協議会

在宅医療・介護に係る関係機関が連携推進に向けて意見交換を行っています。

・中央区在宅医療・介護連携支援相談室 (実施主体：(一社)大阪市中央区南医師会)

医療・介護従事者に対する相談窓口を設けて、コーディネーターが多職種間の連携調整や必要に応じた情報提供等を行っています。(TEL 06-6252-0252 FAX 06-6252-0689)

・中央区地域ケア研究集会

(実施主体：中央区地域ケア研究集会実行委員会)

医師、歯科医師、薬剤師、居宅介護支援事業者、訪問介護事業者、訪問看護事業者、通所介護事業者、地域包括支援センター、区社会福祉協議会、区役所の関係者などが集まり、平成23年度から多職種間で顔の見える関係づくりを進めています。



・中央区在宅医療・介護連携多職種研修会

高齢者の口腔ケアや服薬管理といった介護の現場に必要な知識や対応方法などについて、多職種の従事者が研修する場を設けています。

・中央区在宅医療講演会

区民の方々に在宅医療について認識を深めていただくため、数多くの事例に関わってこられた医師からのお話を聴ける機会を設けています。

**「いきいき百歳体操」を活用して
地域で介護予防に取り組みませんか**



介護予防の一環として、地域が主体となって週に1~2回、5人以上が参加して、「いきいき百歳体操」をはじめの際に、手足に装着するおもりやDVDの貸し出しなどの支援を行っています。(問合せ 中央区保健福祉センター(地域活動) TEL 06-6267-9968)



《地域包括支援センターの紹介》

介護や福祉でお困りの時は地域包括支援センターにご相談ください。(無料)

中央区地域包括支援センター…………… TEL 06-6763-8139

中央区北部地域包括支援センター……… TEL 06-6944-2116

・中央区オレンジチーム (TEL 06-6948-6639)

中央区北部地域包括支援センターでは、医師を含む医療職、介護職、福祉職で構成される認知症専門のチーム「中央区オレンジチーム」が活動し、潜在的な認知症高齢者を早期に発見し、診断・支援につなげる取り組みを進めています。



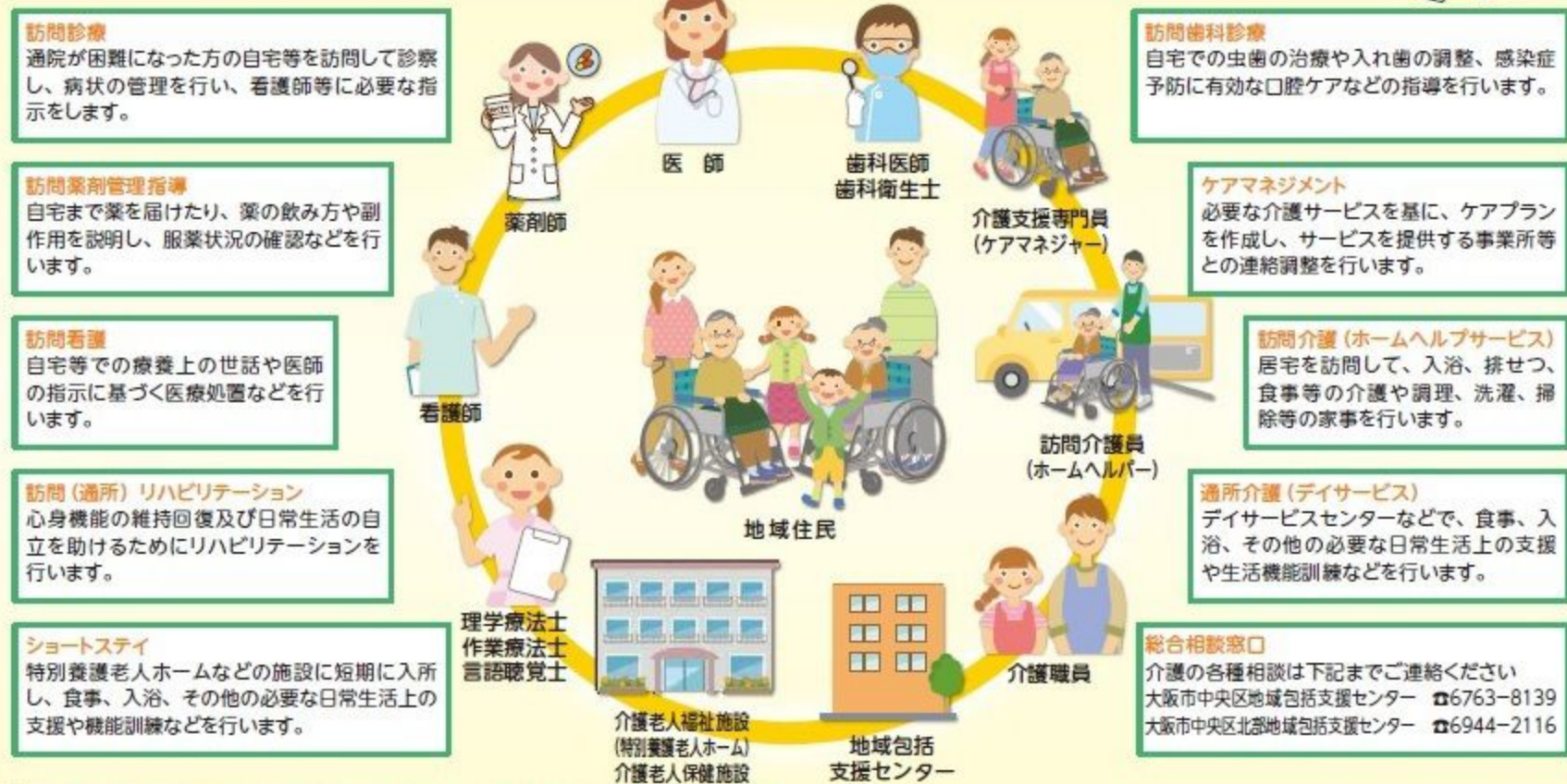
発行 大阪市中心区在宅医療・介護連携推進協議会

構成団体：(一社) 大阪市中心区東医師会、(一社) 大阪市中心区南医師会、
(一社) 大阪市中心区東歯科医師会、大阪市中心区南歯科医師会、中央区東薬剤師会、中央区南薬剤師会、
中央区介護事業者四者連絡会、中央区居宅介護支援事業者連絡会、中央区訪問介護事業者連絡会、
中央区訪問看護事業者連絡会、中央区通所介護事業者連絡会、中央区地域包括支援センター、
中央区北部地域包括支援センター、(社福) 大阪市中心区社会福祉協議会、大阪市中心区役所

問合せ 大阪市中心区保健福祉センター (運営)

〒541-8518 大阪市中心区久太郎町 1-2-27 TEL 06-6267-9882

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる体制（地域包括ケアシステム）の構築が求められています。このため、中央区では在宅医療・介護を支える医療・介護の関係機関や多職種の連携を進めています。



大阪市中央区在宅医療・介護連携推進協議会構成団体

（一社）大阪市中央区東医師会、（一社）大阪市中央区南医師会、（一社）大阪市東歯科医師会、大阪市南歯科医師会、中央区東薬剤師会、中央区南薬剤師会、中央区介護事業者四者連絡会、中央区居宅介護支援事業者連絡会、中央区訪問介護事業者連絡会、中央区訪問看護事業者連絡会、中央区通所介護事業者連絡会、中央区地域包括支援センター、中央区北部地域包括支援センター、（社福）大阪市中央区社会福祉協議会、大阪市中央区役所